

## 小学校の畑は学びの場！農作業で育むつながり

### 農援隊

エリア 六ツ川（六つ川小学校エリア） 月日 （農作業）毎週水曜日

六つ川小学校にある広大な荒地を子どもたちのために活用できないか…そんな想いで立ち上げたのが農援隊。学校と農援隊が連携して畑にし、子どもたちに農作業を体験させる活動を続けている。農作業のスペシャリストが集まる農援隊。季節にあわせた様々な野菜の種蒔きから収穫の仕方までを子どもたちへ指導している。

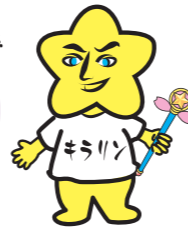
この日は、大根の種蒔き。子どもたちは、小さな種を丁寧に畑に蒔き、立派な大根が育つようにと今から楽しみにしている様子。毎年収穫した野菜は給食の食材にも活用し、農援隊を招待して試食会を開催。こうした体験が子どもたちの食育にもつながっている。

農援隊のメンバーは「この活動を通じて、私たちも子どもたちから元気をもらっている」と笑顔。自然と触れ合う機会が少なくなっている子どもたちにとっても、農援隊にとっても、この畑は大切な場所となっている。



ひとこと 農援隊は、児童が土と交わることで情操豊かな子どもを育てたいという願いを持ち活動していますが、給食残等を肥料とし食のサイクルを学んでもらうことも考え行っています。今後の問題はメンバーの高齢化。若い方の参加を切望しています。（農援隊 隊長 東梅様）

地域と学校の連携で  
学びの場づくり！  
キラリンも  
参加したい！



## 趣味から広がる地域の輪 コーヒーを淹れてみんなが笑顔に

### コーヒー淹れ隊

エリア 堀ノ内睦町 月日 （練習会）毎月第2月曜日 10:00～

コーヒーの良い香りが漂う調理室。明るい笑顔でコーヒーを淹れているのは「コーヒー淹れ隊」のみなさん。睦地域ケアプラザの協力を得ながら、いつでも美味しいコーヒーを提供できるよう腕を磨いている。

このコーヒーは、町内のサロンやケアプラザまつりなどで振る舞われ、地域の人からも大好評だ。依頼があれば、とにかく出向いて美味しいコーヒーを淹れる…。チャレンジ精神も旺盛なメンバーは、「無理なく楽しく続けよう!!」をモットーに活動を続けている。

「コーヒーの淹れ方講座」の受講者が、「コーヒー淹れ隊」を結成し、徐々に仲間も増えて活動の幅を広げてきた。趣味から生まれた人と人との交流や地域とのつながり。今後も芳醇な香り漂うコーヒーを淹れるメンバーの笑顔に、多くの人が癒されて、あったかい地域の輪が広がっていくだろう。



ひとこと 講座で出会った仲間たちと、美味しいコーヒーを淹れる練習を重ねています。皆さんに「おいしいね」と言って飲んでもらえると、私たちもあったかい気持ちになります。コーヒー好きの方、いつでも覗きにきてください。（コーヒー淹れ隊）

趣味での集まりが、  
地域で喜ばれる活動  
にもつながるんだね！  
キラッ！



地域の笑顔をお届け 南区ソーシャルマガジン

# キラリ

南の風はあったかい

相手を思いやりながら  
さまざまな工夫をこらしながら  
つながりを持ちながら

「キラリ」では  
そんな素敵な取組を御紹介します

Vol.5  
2019.11



### ◆太田東部ひよっこり茶屋

ドンドン商店街にある津田食堂。今は営業をしていないこの店舗で、月に1度誰でも参加可能なサロンが開催されている。子どもから大人まで多世代が集い、多くの人で賑わっている。この日もまた、思いがけない出会いがあり、新たなつながりが生まれていた。詳しい様子は次号をお楽しみに。

## ここが私たちのふるさと 道に愛称をつけて地域愛を深めよう

### 道の愛称プロジェクト（ふるさと創生の会）

エリア 南永田山王台



毎日のように地域住民や学生たちが行き交う地域の道。そんな地域の道に愛称をつける活動が「道の愛称プロジェクト」のメンバーを中心に南永田山王台エリア全体へ広がっている。

「まずは、地域を歩いてみよう。」と30名程の参加者がまち歩きを体験。今まで気づかなかった小道を歩いたり、素晴らしい景色を見たりと、改めて地域の魅力を知ることができたという。

また、まちの魅力や歴史を知ってもらうため、ワークショップを開催し、広報誌やホームページで幅広く発信することで、地域の学校も参加するなど、多世代にプロジェクトが浸透し、盛り上がりを見せている。

道に愛称をつける活動を通じて、地域へのふるさと意識や愛着心を深めてもらいたい。「道の愛称プロジェクト」の想いをこれからも伝え続けることで、地域が一体となり豊かなまちを創り出している。

まずは、地域にある16の道に愛称をつけようと案を募集したところ、様々な世代から、300通近い応募がありました。どんな愛称がつくのか、今から楽しみです。今後も、様々なワークショップを開催し、住民同士の交流を深めていきたいです。（道の愛称プロジェクト リーダー 堀木様）

大好きなまちへの  
想いが、  
活動の原動力に…  
感動!キラッ!



## 夏休みの宿題はまちの先生に 笑顔あふれる子ども寺子屋

### 六ツ川四丁目町内会

エリア 六ツ川大池



様々な行事を通じて活発に多世代交流を行っている六ツ川四丁目町内会では、子どもたちの夏休みに合わせた「子ども寺子屋」が、毎年、町内会館で開講される。

子ども寺子屋は、町内会活動に熱心な父の背中を見て育ったひとりの学生の「地域の子どもたちに夏休みの宿題を教えてあげたい!」という想いから始まった。今では、この活動に賛同する地域の方々も先生役となり、子どもたちの勉強をマンツーマンで教えるなど、きめ細やかな対応をしている。

とてもリラックスした様子で夏休みの宿題に取り組む子どもたちと、その様子を見守る地域の大人たち。子ども寺子屋には、地域ならではのあたたかい空気が流れていた。

若い世代の「地域のために何かしたい。」という想いをカタチにすることで、小さな輪がどんどん大きくなり、元気な地域を創り上げている。

寺子屋で勉強を教えた子どもたちと地域のイベントで会うと、とても親しみを持って接してくれます。また、夏祭りのお手伝いを小中学生から募集するなど、子どもたちが町内会活動に携われる環境づくりに力を入れています。（六ツ川四丁目町内会 役員 村木様）

子ども寺子屋で  
顔見知りになることで、  
新たなつながりが  
生まれるね!



## みんなで一緒に健康づくり 町内の老人ホームから広がる笑顔の輪

### 別所三丁目西町内会・アズハイム横浜上大岡

エリア 別所 月日 (体操教室) 毎月第2・第4水曜日 10:00~



「体操教室ができる新たな場所を見つけたい」と思う別所三丁目西町内会の婦人部と、「地域のために何か貢献したい」と思う老人ホームがうまくマッチングし、2019年度から、老人ホームを借りて体操教室を開催することになった。

毎月第2・第4水曜日に行う体操は、じゃんけん体操など脳トレにもなるメニューとなっており、老人ホームの入居者も一緒に参加し、汗を流している。

毎回30名ほど参加者が集まる会場は、いつも賑やかな声が響いており、参加者からは「一緒に体操をすることで元気がもらえる。」と好評である。

このつながりをきっかけに、町内会と老人ホームとの交流が生まれ、この夏には、子ども会も加わって流しそうめんや盆踊りをみんなで楽しむなど、町内会と入居者との輪が広がっている。

体操やイベントなど、入居者の方との交流を楽しんでいます。今後も、活動を通じて交流を図っていきたいです。

(別所三丁目西町内会 婦人部代表 剣持様)

開かれたホームを目指し、地域とのつながりをより一層強化し、お互い楽しく過ごせるよう企画・実行していこうと思います。(アズハイム横浜上大岡 ホーム長 新井様)

地域と施設が連携して  
取り組むことで、  
顔の見える関係が  
広がるんだね!



## サロンから広がる仲間づくりと地域の元気

### 中村ご近所サロンの会

エリア 中村



地区内に約20か所のサロンが点在する中村地区。町内会館や空き家などを活用し、高齢者や親子が気軽に集うことができるサロンは、住民にとって大切な居場所となっており、地域の人たちによって運営されている。「サロンの魅力を更に地域に広めるため、運営者同士が交流する場が必要なのでは…」こんな想いから誕生したのが“中村ご近所サロンの会”。

2019年は3回の開催が決まっており、この日も20名程の運営者がイベント情報や近況報告を行ったほか、脳トレやヨガ、折り紙などを教え合い、サロン活動に役立つ情報を交換した。

ここでは、全員が参加者であり運営者。一緒に汗を流したり工作をするだけでなく、サロン活動の楽しさや難しさを分かち合える仲間に出会える場があることで、運営者の皆さんが元気に地域活動を続けている。

皆さんとお話することで、毎回新たな発見があります。人生百歳時代の今日。いかに楽しい毎日を過ごせるかは、外に出て人と交流することが大切です。今後も、中村地区のサロンが一丸となり居場所作りに取り組みます。(中村ご近所サロンの会 代表 伊藤様)

三人寄れば文殊の知恵!!  
地域活動を楽しく  
続けるための  
大切な仲間だね。

